



カフェこおり銀座

インタビュー 代表：加嶋 夏代

甲浦学区情報	世帯数	2,167 世帯	人口	4,847 人	高齢化率	30.6%
--------	-----	----------	----	---------	------	-------

■活動のきっかけ

認知症であるかないかは関係なく、誰でも一緒に過ごせる場を作りたいと思い、取り組みを始めました。物忘れがあったとしても、少しの工夫で生き生きと過ごしている方々の姿を見ることで、社会が持つ認知症に対するイメージを変えることができると思います。

■活動内容

「カフェこおり銀座」は、誰でも参加することができる“集いの場”です。民生委員さんが場所を提供され、看板は手作り！地域のみなさんが作り上げたカフェです。事前の申し込みは不要で、気軽にコーヒーを飲みながら、喫茶店のようにくつろいだり、その場で医療・福祉の専門家に相談をすることもできます。

誰もが「ホッとできる場所」となることを大切にしたいカフェです。地域の中の喫茶店のようなあたたかさを作りたいと、現在は喫茶を中心とした活動をしています。利用にあたっての手続きも不要で、誰でも訪れてもらっています。

■活動の効果

2019年5月に地域のみなさんのご協力のもと立ち上げ、いつも訪れる方や新しく訪れる方など様々です。カフェを訪れる方たちと次回の内容を相談しながら回を重ねてきています。これまではケーキを食べてクリスマス会をしたり、新年会として会食などもしてきました。

認知症の診断を受けている方、自分の物忘れが気になりだした方、年をとっていく自分の今後が不安な方、みんなと和気あいあいと気軽に話せる場が欲しい方など、様々な方が訪れてくださっています。カフェでは、それぞれの立場で感じている思いをコーヒーなど飲みながら病院の相談員に相談できるようになってきました。



■参加者

誰でも参加可能

■場所・開催時間・利用料金

場所：圓藏院隣（岡山市南区郡 1204）

時間：第4月曜日 14:00～16:00

料金：無料（コーヒー・お茶代 各 100 円）



【カフェの外観と、手作りの看板】

■工夫していること

「今日はこれをしましょう」といった企画はなく、誰でも来れる！おしゃべりが出来る！そんな、ふつうのカフェを目指しました。人と人との出会いの中で、みなさんの居場所づくりや認知症の理解につながれば良いと思っています。

また、会場には駐車場がありませんが、岡山ひだまりの里病院の駐車場に駐車可能としており、そこからの送迎も行っています。

※病院への駐車・送迎希望の方は要電話
(086-267-2011)



【岡山ひだまりの里病院】

■構成スタッフ

〈代表者〉

岡山ひだまりの里病院ソーシャルワーカー
加嶋 夏代

〈構成スタッフ〉

岡山ひだまりの里病院職員、林友会、
郡地区の方々

〈支援団体〉

地域包括支援センター

■苦勞した、苦勞していること

認知症カフェという、抵抗感を持たれる方もおられ、どのように理解を得るかは悩むこともあります。地域のみなさんがつなげてくださることもあり、地域との協働運営に助けていただき苦勞は少なく活動できています。

■今後の展望

認知症の診断を受けた後も、認知症であることを隠すことなく周囲の人の理解や支えのもと生き生きと暮らしていける地域を作りたいと思っています。

カフェで認知症の方とともに過ごす中で、認知症への理解を深めるだけでなく、今後は認知症についてもみなさんが理解を深められるよう、気楽に学べる講座なども取り入れていきたいと思っています。

■今後取り組もうとする方に伝えたいこと

何のためにカフェをするのか、どんなカフェを自分たちは作りたいのか、コンセプトや目的を運営する側が共有をしておく、その後も同じ思いを持ちながら運営のできる継続性のあるカフェになっていくのではと感じています。



<認知症カフェとは？>

認知症の方やそのご家族、地域のみなさん、医療・福祉の専門職など、特に参加者の制限を設けずに誰もが気軽に立ち寄れるカフェのことです。コーヒーなどを飲みながら気軽におしゃべりができる雰囲気の中で、認知症への理解を深めたり、悩みを共有したり、その場で専門職に相談をすることもできます。

■お問い合わせ

岡山市役所（高齢者福祉課） TEL：086-803-1230